

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
プロダクトデザイン専攻 プロダクトデザイン専攻											
プロダクトデザイン実習 1											
対象	2年次	開講期	前期	区分	選	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	氏田治久			実務経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
授業概要											
「新しいカプセルトイ」というテーマで一人1点企画し試作品製作まで行う。 実際に商品化できるか?という目線で評価することでリアルなビジネス感覚を身に付ける。											
到達目標											
ターゲット設定→ターゲット分析→アイデア展開→デザインスケッチ→仕様検討→試作→プレゼンという商品開発の一連作業を実際に体験し、流れを理解する。											
授業方法											
この授業では、クラス＝デザイン制作室という認識をもってより良いデザイン制作に必要な学生間・教員と学生のコミュニケーションと制作プロセスを重視する。授業に出席するだけでなく、制作にあたっては各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。											
成績評価方法											
課題制作、企画内容、レポート、プレゼンテーション等を総合的に評価する。											
履修上の注意											
自ら関心をもって情報を取材し発表するだけではなく、他者の発表にしっかり耳を傾けること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。アイデアを練る段階では様々な場所で多くのモノを見るのも重要なことではあるが各段階での途中プレゼンと最終プレゼンは欠席せず自分の言葉と資料、試作で内容を伝えること。提出課題は、期限を厳守すること。											
教科書教材											
プレゼン用の資料および模型素材は各自準備の事											
回数	授業計画										
第1回	初回ガイダンス：玩具開発現場の話を聞いてもらい商品特性等を理解してもらう。好きなプロダクトを各自紹介してもらい相互理解とプレゼン練習も兼ねる。										
第2回	校外見学：カプセルトイ専門店を見学し実際に商品が誰にどのように売れているか等観察。その他最新情報であふれた都内の街で企画のヒントを探す。										
第3回	ブレインストーミング：3～4人ずつのグループにわかれてアイデア出し。ブレストの手法を学ぶ										

2024年度 日本工学院八王子専門学校	
プロダクトデザイン専攻 プロダクトデザイン専攻	
プロダクトデザイン実習 1	
第4回	アイデア展開：個別にターゲット設定、分析を行いペルソナ手法を学ぶ。
第5回	アイデア展開：設定したターゲットが喜ぶ商品アイデアを考える
第6回	アイデア展開：設定したターゲットが喜ぶ商品アイデアを考える。グループに分かれ各自のアイデアに対してディスカッション。
第7回	アイデアプレゼン：ターゲット、企画背景、考えているアイデアを個別に説明する。この時点では仮でも良く完成度は問わない。アイデアの実現性、具体性があるか、それはなぜか？ということ学ぶ
第8回	試作品製作：アイデアスケッチ及び試作品製作。スケッチ、試作の製作手法を学ぶ。
第9回	試作品製作：アイデアスケッチ及び試作品製作。スケッチ、試作の製作手法を学ぶ。
第10回	試作品製作：アイデアスケッチ及び試作品製作。スケッチ、試作の製作手法を学ぶ。
第11回	中間プレゼン：ターゲット、企画背景、アイデアスケッチが入った資料と試作品を個別に説明する。この時点では途中段階で構わない。企画内容を他者に伝えるにはどういう工夫が必要か？を学ぶ。
第12回	試作品製作・修正：試作品の作りこみ仕上げ。スケッチ、試作の製作手法を学ぶ
第13回	試作品製作・修正：試作品の作りこみ仕上げ。スケッチ、試作の製作手法を学ぶ
第14回	プレゼン資料仕上げ：プレゼン用資料の仕上げ
第15回	最終プレゼン：全員の前一人ずつプレゼンテーションを行う。実際の商品化には何が足りていて何が足りていないかを知りリアルなビジネス感覚を学ぶ。